

第1回検討委員会意見対応表

No.	意見内容	対応
1	担当課での検討を本計画に含めるべき。 これからの施策について、まだ文章になっていないが、国から方針は示されている。本計画は35年という長い計画期間であり、現状具体的なものはないが、所管課の意見も吸い上げていただきたい。社会的な動きや制度的な動きも大切。	所管課ヒアリングを通じて把握したうえで、ロードマップ等へ反映しました。
2	施設の再編は居住地の再編であるため、立地適正化計画と公共施設再編はワンセットで考えると良い。後半の再編の基本構想にあたる箇所に、何らかの形で言及されると、深度が違う具体性のある計画になると考えている。	計画書本編第2章の上位関連計画で整理するだけでなく、計画書本編第5章公共施設再編の基本方針1に反映しました。
3	再編のメリットも考えていきたい。(マイナス×マイナスはプラス) 施設の複合にあたって、合理的になることや住民の利便性が向上する旨を入れるべき。 第5章の基本方針にプラスの意見を強く書く。	計画書本編第5章公共施設再編の基本方針1に反映しました。
4	町内の学校を建替える際、オープンスクールとするのかという方針をどこかで決めたいと考えていた。この再配置計画でも議論できると良い。	今後の取組等で盛り込む予定です。
5	第4章の公共施設の課題において、経費削減への対応があげられている。公共施設の維持に毎年2億円不足するという点について、年間予算が限られており、施設改修ができなくなるということを前面に押し出すべき。	計画書本編第4章の課題に明記しました。
6	公共交通機関の話について、現状の移動手段について記載すべき。	計画書本編第2章第3節で現状の地域公共交通を追加しました。
7	東浦は唯一三河地方である刈谷市と連携してるが、その部分を反映できないか。	計画書本編第2章第3節で相互利用の状況を追加しました。
8	第4章の課題について、①と⑥は似た内容であり、どんな課題があるのかわかりづらい。これから人口が減る中で求められる施設像は、標準的なものでなく地域の実情に合わせたものが必要となる。一方で、古くなったら建替えるという発想では施設を建替えられなくなる時代が来ると考えており、用途の転用性も大切。	計画書本編第4章の課題①と⑥の内容を見直しました。また、計画書本編第5章公共施設再編の基本方針3について、スケルトンインフィルの表現を改め、転用性・柔軟性の表現を記載しました。
9	5章の基本方針について、町民サービスの向上とあるが、今あるサービスを向上するように見えるため、今のニーズに対応する必要性や、変化に対する対応性といった旨を加える。	計画書本編第5章公共施設再編の基本方針1の言い回しを修正しました。
10	再編に際しては建物の物理的な再編と機能の再編があるが、誰がマネジメントしていくかが重要。	今後の取組等で盛り込む予定です。
11	“町内6地区すべて”の町民サービスの向上」とあるが、特筆すべき事項なのか。地域の実情から記載しておきたい気持ちはわかるが、計画推進にあたり支障が出るのではないか。 基本方針にある「町内6地区すべて”の町民サービスの向上」という記載はよく検討した方がよい。	計画書本編第5章公共施設再編の基本方針1について、拠点形成の意味合いは残し、言い回しを修正しました。